

(4) 特別支援教育研究会（特別支援学級）

会 長 永野 恵理香（中筋小学校）
副会長 中山 加奈江（具同小学校）
事務局 大野 理絵（中村中学校）
松本 尚子（東山小学校）

1. 研究主題 「 特別な支援を必要とする子どもたちが生き生きと学べる授業づくり 」

2. 研究経過

実施年月日	研 究 の あ ら ま し	会場	備考
令和6年 5月7日（火）	四万十市教育研究会 組織総会	中村中学校	18名参加
6月11日（火）	第1回 サークル連絡協議会	四万十市教育 研究所	
7月26日（金）	四万十市教育研究会 夏期研修会 内容：講話、協議 「児童・生徒の困り感への支援について」 講師：是永かな子教授（高知大学） 日程： 9:10～ 受付 9:20～10:40 開会・講演 10:50～11:10 グループ協議 11:10～11:30 質疑応答	しまんとぴあ ミーティング ルーム4・5	14名参加

3. 夏季研修会

今年度は、「生徒と先生たちの困り感の克服」を目指して、高知大学の是永かな子先生にご講話いただいた。

組織総会とその後のアンケートで、先生方が日頃感じている困り感や質問を是永先生にお伝えし、当日、事例を通じて、問題点や原因・解決策、指導の際の注意点などをご提示いただいた。

「自閉傾向の強い児童への関わり方」では、子どもの様々な行動をどう判断するか、ASD と ADHD でどのように伝え方を変えるか、といった具体的なお話があった。教師が注意することは、視覚支援を増やすことや、指示語を使わない明確な表現をすること、「子どものミスを失敗にしないこと」であることが理解できた。

「知的障害の子どもの学び」は、人と生活につながる実用的なものを工夫し、「できた」を楽しく積み重ねることが大事であるというお話であった。また、「『ありがとう・ごめんなさい・手伝って』が言えると、社会の中で役に立つ。」というお話は、障害ということを考えなくても、大切に納得できることであった。

海外の特別支援教育についてのお話もあり、子どもに正しい姿勢を維持させるためにバランスボールを椅子として使用している教室や、精神を落ち着かせるためのクールダウンルーム・くさり入りベスト、手遊び用のおもちゃなども写真と共にご紹介いただいた。

要所要所で、先生方との対話をはさみながら講話を進めていただき、発表には拍手で称賛しあった。

講師の是永先生には研修終了後も気さくに質問にお答えいただき、実りある会になったと同時に、もっと詳しいお話をお聞きしたいと思う研修であった。また、「教師が子どもの言動に困っているように、子ども自身も行動の制御に困っているのではないかと気づかされた。」という感想もあり、多くの示唆のある、理解が深まる研修になった。

4. 今年度の成果と課題

(成果)

- 事前に出した質問に対して、全て答える形で講話をしていただき、充実した時間であった。具体的な事例を基にとっても分かりやすく、すぐに使えるような内容であった。
- 基本的なことから、特別支援教育の現状までとてもためになるお話だった。自分がやれていなかったこと・やってしまっていたことを反省し、2学期に生かしたい。
- 種別ごとの話し合いができて良かった。
- 質問の一つひとつ丁寧に答えていただいた上に、知的障害と情緒障害についてさらに詳しく解説していただき、理解が深まった。是永先生や他校の先生と近い距離で向かい合ってお話しでき、意見や質問もしやすかったし、情報交換もできた。
- 事例を基に実践的な対応を知ることができ、2学期に取り組んでみようと思えた。
- 外国の取組についても知ることができ、知見が広がった。
- 冷静に・端的にということ意識して指示を出したり、言葉を発する必要があると思った。
- 今年初めて特別支援の担任をしており、この研修で分からないことや不安が少し解消された。障害の特性を理解し、支援の方法を考えることが必要であり、声掛け一つにしても工夫が必要だということが分かった。目指す児童の姿と、そのための教師のアプローチが見えてきた。
- 児童同士が繋がり合えるような支援を行うことが、教師の大切な役割だと感じた。
- 高校になると教師は生徒のそばに付かないので、自分たちでできるように「支援の引き算をする。」というお話に納得した。
- 具体的な例を挙げてもらうことで、2学期からの実践や支援に役立てられそうなお話があった。先生方と交流もでき、良い研修になった。
- 「人の気持ち分かる子に」、「集団のルールを身に付けさせる」の対応策がとても参考になった。
- 明日から即実践できる内容がたくさんあり、意欲が湧いた。

(課題)

- たくさんの質問に答えるためと、先生の午後の予定との関係で、お話が急ぎ足になっていた。もっと詳しく聞きたいと思うところもあり、少し残念だった。
- それぞれの困り感が違うので、質問や、助言をもらいたいことを絞ることが難しい。

